



川崎クリニックDXA検査のご紹介

日本骨粗鬆症学会 ガイドライン

日本骨粗鬆症学会の骨粗鬆症の治療と予防ガイドライン(2015年版)によれば、原発性骨粗鬆症は、脆弱性骨折の有無の判定とあわせて骨密度値のYAM値によって診断されます(図1)。骨密度測定には、DXA法が推奨されており、腰椎と大腿骨近位部の両者を測定することが望ましいとされています。

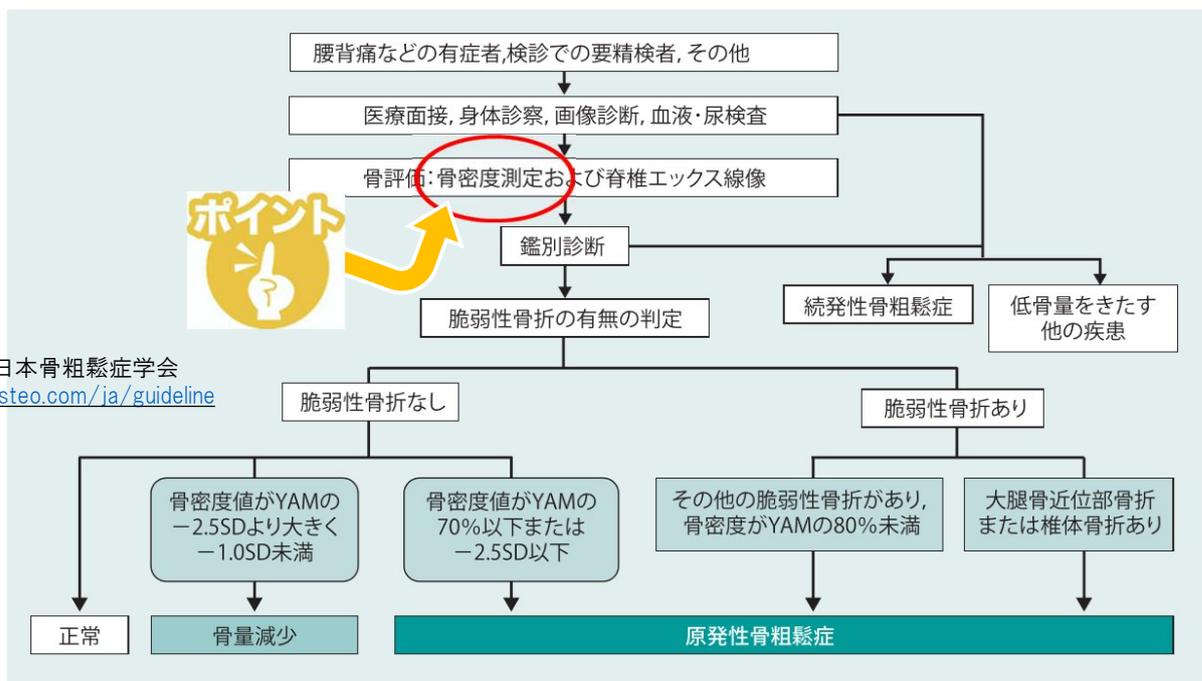


図1：出典 日本骨粗鬆症学会
http://www.josteo.com/ja/guideline/doc/15_1.pdf

最新のデータでは、日本における骨粗鬆症に有病者数は、1,500万人を超えると推計されており、高齢化を反映して増加傾向が継続しています。脆弱性骨折は寝たきりの原因となり、健康寿命が損なわれ、死亡リスクが増大することが明らかとなっています。しかし以前より、治療率は20%程度と決して高くないところが問題となっています。リスクのある患者様をDXA検査によって、適切に骨粗鬆症の診断がされ治療につなげることは、骨折のリスクを低減し、健康寿命の延伸に寄与すると期待されています。

DXAオープン検査について

予約可能時間

月～金

10:00、10:30、11:00

15:00、16:00

土

10:30

DXA検査受診の注意点

- 検査は川崎クリニックで行います。
- 検査の20分前までにご来院ください。
- 検査日の1週間以内に造影剤検査を受けた場合、DXAを受けられない場合があります。

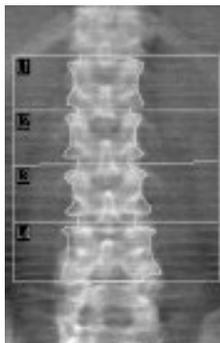
ご予約は、川崎クリニック 外来予約 044-222-9259 まで

川崎クリニック 骨密度測定 DXA検査 の特徴

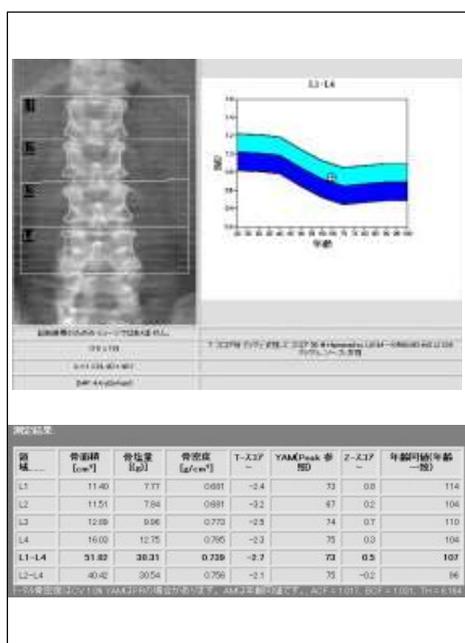
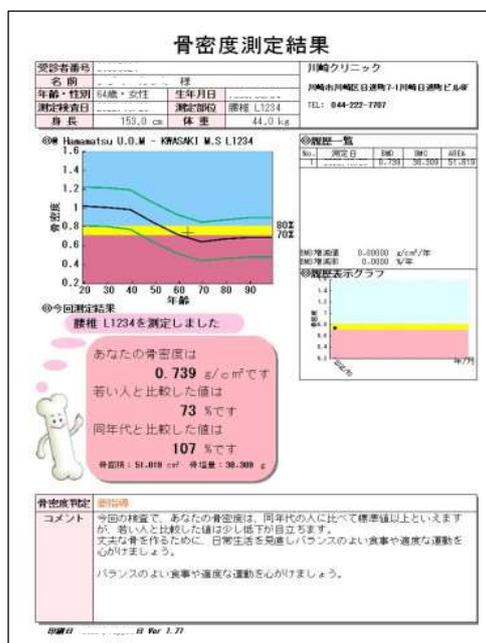
川崎クリニック DXAオープン検査では、Hologic社の全身型X線骨密度測定装置 Discovery Aを用いており、ガイドラインで推奨されている 腰椎、大腿骨近位部に加えて、全身の測定にも対応しております。全身検査からは、骨密度だけでなく、部位別に体組成{骨量、脂肪量、筋肉量他}を定量することができます。骨粗鬆症と同じく高齢化によるサルコペニアの診断にもご利用いただけます。



Hologic Discovery A



各部位 解析画像



骨粗鬆症マネージャーである診療放射線技師を中心として再現性の高い検査結果の提供に努めております。

患者様用結果は、カラー印刷で視認性も良く、検査履歴が表示されるので、骨密度変化を容易に確認できます。

また、ご施設用には、画像とともに各部位の測定値が記載されるので、骨の形態変化がある場合など診断に適切な部位の選択にお役立ていただけます。

- ・全身型X線骨密度測定装置により、腰椎、大腿骨近位部、全身測定に対応しております。
- ・測定精度が高く、再現性のある検査を行い、正確なレポートを提供します。



社会医療法人財団 石心会

川崎幸病院

川崎市幸区大宮町31番
27

代表
(24時間対応)

044-544-4611

地域医療連携室
(直通)

044-544-4638

救急/手術/入院

